



# スノーシューハイキング

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- ・積雪期にしかできない活動をとおして、雪国の自然に親しむ。
- ・動物の足跡や樹木の冬芽等を観察することにより、生命の営みが冬でも続いていることに気づく。

### 2 活動の概要

スノーシューをはいて白銀のフィールドを歩き、アニマルトラッキングや冬芽の観察をする活動です。冬でもたくましく活動している動物たちや、寒さに耐え、じっと春を待つ植物たちの生命の営みを垣間見ることができます。コースは事前に職員と相談のうえ、決めることができます。

- (1)人数 30人以内
- (2)対象 小学校4年生以上
- (3)期間 1月上旬～3月上旬
- (4)時間 1～1.5時間（説明20分+活動40～70分）
- (5)場所 自然の家活動エリア
- (6)経費 無料
- (7)指導 依頼のある場合、自然の家職員が指導します。



<活動の様子>

### 3 準備物

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 団体   | 救急薬品                  |
| 個人   | 帽子、手袋、長靴、冬の野外活動に適した服装 |
| 自然の家 | ピプス、スノーシュー、無線機（8台）    |

### 4 引率者の役割分担

| 役割名   | 内容                                  |
|-------|-------------------------------------|
| 代表責任者 | 1名。責任者として全体の総括、指揮、連絡にあたる。           |
| 活動支援者 | 数名。隊列の前後や途中に付き、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。 |

### ◎自然の家で見られる冬芽・足跡の例



<オオカメノキ>



<ホオノキ>



<オニグルミ>



<オオバクロモジ>



<ノウサギ>



<ニホンリス>

## 5 活動の流れ

|            | 内 容  |
|------------|--|
| 説 明<br>準 備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理、服装（防寒着・帽子・手袋）、スノーシューについて説明</li> <li>ビブス、スノーシューの貸出</li> </ul>   |
| 活 動        | <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の足跡、食跡、排泄物等を手がかりに、雪の中での行動を想像する。</li> <li>樹木の冬芽や葉痕を観察し、冬でも生命の営みが続いていることに気づく。</li> <li>人員の確認をする。</li> </ul> |
| まとめ        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえり</li> <li>借用物品の返却（無線機は事務室へ返却）</li> </ul>   |

## 6 実施上の留意点

- 冬の屋外での活動なので、事前・事後の健康管理に気をつける。
- コース上にトイレはないので、出発前に必ずトイレを済ませるようにする。
- 長靴のサイズが小さい場合は、スノーシューが外れやすいので装着状況を確認する。
- 直前の踏査が必要であるため活動時間の設定は、踏査時間を加味した余裕のあるものとする。

## 7 安全に実施するためのポイント

- 荒天時は中止する。
- 実施当日に、コースの安全確認を行う。

## 8 活動エリア

